



## 2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社CSSホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 克裕  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 岩崎 善彦 TEL 03-6661-7840  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	4,205	27.2	133	529.4	148	231.3	105	204.3
2023年9月期第1四半期	3,307	26.3	21	—	44	△45.2	34	△56.8

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 94百万円 ( 129.4%) 2023年9月期第1四半期 41百万円 ( △38.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	21.19	20.99
2023年9月期第1四半期	6.96	6.90

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	6,033	2,389	39.6
2023年9月期	5,700	2,346	41.2

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 2,389百万円 2023年9月期 2,346百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	7.00	—	10.00	17.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,402	12.9	263	10.5	272	1.0	182	△10.1	36.51
通期	16,221	9.3	352	27.8	370	18.2	270	17.3	54.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	5,285,600株	2023年9月期	5,285,600株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	290,970株	2023年9月期	290,970株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	4,994,630株	2023年9月期1Q	4,994,630株

期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式（2024年9月期1Q 125,600株、2023年9月期末125,600株）が含まれております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2024年9月期1Q 125,600株、2023年9月期1Q 125,600株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている今後の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用あたったの注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、物価の上昇や複雑な金融情勢がわが国経済にさまざまに影響しながらも、各種政策および雇用・所得環境の改善傾向を受けて穏やかな回復基調が報じられる状況となりました。

当社グループを取り巻く環境においても、年末の宴会需要がコロナ禍の影響から脱して復調してきたこと、また訪日外国人客数がコロナ前の水準に回復していること、円安の影響を受けてホテル・観光業界のお客単価の設定が強気に推移していることなど、コロナ禍からの本格的な力強い復調トレンドが感じられます。民間企業の設備投資意欲も、このような状況を受けて商談・受注が加速傾向にあります。

当社グループは、2024年に迎える40周年に向けた3ヵ年の中期経営計画「Value Innovation 2024」を推進、「基軸事業の強化による収益力の向上」「グループシナジーによる新たな価値の創出」を軸とし、コロナ禍により激変した事業環境に対応すべく経営基盤の再構築に取り組んでおります。計画最終年度となる当年度においては、当初計画を大幅に上回る、売上高162億円、親会社株主に帰属する当期純利益2.7億円、ROE10%以上を掲げておりますが、これに対して第一四半期は順調なスタートで推移することができました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は4,205百万円（前年同期比27.2%増）、連結営業利益は133百万円（前年同期比529.4%増）、連結経常利益は148百万円（前年同期比231.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は105百万円（前年同期比204.3%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績の概況は以下のとおりです。

#### ① スチュワード事業

当事業は、ホテル・レストラン・テーマパークといった業態のお客様に対して、食器洗浄をはじめとする厨房管理・清掃業務および宿泊清掃等のハウスキーピングを受託する当社グループの中核となるセグメントです。

当第1四半期連結累計期間においては新規事業所として6件の開業を達成し、新規開業売上計画に対する予算達成率は19%に達しました。年度末に向けて新規開業実績は積みあがっていくことから、極めて順調な進捗と言えます。人財の採用およびリテンションに必要なコストは上昇傾向にありますが、営業利益率は改善の傾向にあり、お客様の理解による価格転嫁やコスト削減が奏功しています。

また、コロナ禍からの脱却によって業務量の基本水準が上昇していることから、基本契約のベースアップも進んでいます。依然としてピーク時の臨時発注業務はあるものの、モニタリング指標としている主要顧客の基本契約総額は、一年前と比較して18.7%アップとなっています。

この結果、売上高は2,119百万円（前年同期比35.5%増）となり、営業利益は179百万円（前年同期比91.4%増）と大幅な増収増益となりました。

#### ② フードサービス事業

当事業は、従業員食堂・ホテル内レストラン運営の受託を全国で展開し、フードビジネス事業としてセグメントを構成します。

当事業は、朝食サービスを中心としたホテル内レストラン運営、従業員食堂・ライフケア施設給食の受託を全国で展開し、フードビジネス事業としてセグメントを構成します。

当第1四半期連結累計期間においては、4件の新規事業所を開業いたしました。特に朝食レストランの受託ニーズが堅調に推移しており、通年においても新規開業計画の中核となっています。全体の売上構成においても徐々にレストラン受託業務の比率が高まっており、当第1四半期連結累計期間において65.8%を占めるに至りました。

やはり人財の採用に必要なコストは上昇傾向にあり、当セグメントは食材コストの高騰も大きな影響がありますが、営業利益率は改善の傾向にあり、スチュワード事業同様に背景にはクライアントの理解による価格転嫁やコスト削減が奏功しています。

この結果、売上高は954百万円（前年同期比25.4%増）となり、営業利益は31百万円（前年同期比53.6%増）と増収増益となりました。

## ③空間プロデュース事業

当事業は、映像・音響・放送・セキュリティーに関する設計・施工・販売・管理・メンテナンスに加え、BGM及び香りまで提供する空間プロデュース事業としてセグメントを構成いたします。

当第1四半期連結累計期間においては、景気の穏やかな回復基調を受けて設備投資の機運が高まっていることを背景に、金融業界を中心にセキュリティカメラおよび音響設備の更新需要が堅調に推移、機器販売売上が伸びました。大型音響設備卸販売も受注残が積み上がる傾向にあり、需要の復調が感じられます。FCとの情報連携や技術協力を目的としたカンファレンス、あるいは展示会・デモンストレーション・研修会・メーカーミーティングの頻度を増やし、新規案件の掘り起こしによる販促も並行して推進しています。AIセキュリティカメラの導入、空間プロデュースへの緑化・照明ソリューションの導入、テクノロジー統合型グリーウォールのプロモーションなど、新たな取り組みも具体的な案件として推進・横展開販促を企画する段階に至りました。

この結果、売上高は1,132百万円（前年同期比15.4%増）となり、営業損失は7百万円（前年同期は営業損失47百万円）と増収によって損益改善となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対し、333百万円の増加により6,033百万円となりました。その主因は、現金及び預金107百万円の増加、受取手形、売掛金及び契約資産69百万円の増加、商品及び製品198百万円の増加、原材料及び貯蔵品12百万円の増加などによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末に対し、289百万円の増加により3,644百万円となりました。その主因は、短期借入金400百万円の増加、未払金93百万円の増加、未払消費税等109百万円の減少、賞与引当金109百万円の減少などによるものであります。

純資産は、43百万円増加し、2,389百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における当期の連結業績予想は、2023年11月14日に公表したのから変更はありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実績の業績はこれと異なる可能性があります。）

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	807,275	914,939
受取手形、売掛金及び契約資産	1,943,905	2,013,695
商品及び製品	562,614	761,270
仕掛品	26,196	18,234
原材料及び貯蔵品	21,095	33,422
未収入金	10,123	5,480
未収還付法人税等	36,188	50,825
その他	95,439	84,329
貸倒引当金	△6,110	△153
流動資産合計	3,496,728	3,882,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	966,381	966,381
減価償却累計額	△576,897	△584,013
建物及び構築物(純額)	389,484	382,368
土地	951,628	951,628
その他	199,002	206,235
減価償却累計額	△167,604	△171,401
その他(純額)	31,398	34,833
有形固定資産合計	1,372,511	1,368,831
無形固定資産		
のれん	19,700	18,103
その他	60,416	56,524
無形固定資産合計	80,117	74,627
投資その他の資産		
投資有価証券	532,365	516,859
繰延税金資産	47,107	23,874
その他	171,811	167,561
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	751,237	708,247
固定資産合計	2,203,866	2,151,706
資産合計	5,700,595	6,033,751

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	538,792	564,062
短期借入金	750,000	1,150,000
リース債務	18,015	18,655
未払金	751,586	845,025
未払消費税等	336,810	227,117
未払法人税等	49,827	11,914
賞与引当金	141,566	31,721
その他	374,435	397,016
流動負債合計	2,961,034	3,245,513
固定負債		
リース債務	25,317	25,086
繰延税金負債	7,827	7,056
退職給付に係る負債	324,906	331,595
株式給付引当金	3,394	3,394
長期未払金	22,777	22,177
資産除去債務	8,038	8,054
その他	1,300	1,300
固定負債合計	393,561	398,663
負債合計	3,354,595	3,644,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	279,271	279,271
利益剰余金	1,650,321	1,704,947
自己株式	△109,543	△109,543
株主資本合計	2,213,612	2,268,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,387	121,336
その他の包括利益累計額合計	132,387	121,336
純資産合計	2,346,000	2,389,573
負債純資産合計	5,700,595	6,033,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,307,030	4,205,965
売上原価	2,755,095	3,535,862
売上総利益	551,934	670,103
販売費及び一般管理費	530,644	536,113
営業利益	21,290	133,989
営業外収益		
受取利息	385	479
受取配当金	4,332	5,520
受取賃貸料	2,070	3,228
仕入割引	1,881	3,836
雇用調整助成金	14,632	—
その他	2,940	3,441
営業外収益合計	26,243	16,505
営業外費用		
支払利息	1,821	1,998
支払手数料	615	374
為替差損	381	—
その他	15	47
営業外費用合計	2,834	2,420
経常利益	44,698	148,074
特別利益		
固定資産売却益	16	—
特別利益合計	16	—
特別損失		
固定資産除売却損	288	—
特別損失合計	288	—
税金等調整前四半期純利益	44,426	148,074
法人税、住民税及び事業税	7,069	13,209
法人税等調整額	2,574	29,037
法人税等合計	9,644	42,247
四半期純利益	34,782	105,827
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,782	105,827



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	34,782	105,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,102	△11,051
繰延ヘッジ損益	△1,562	—
その他の包括利益合計	6,540	△11,051
四半期包括利益	41,322	94,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,322	94,775
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	1,563,590	761,058	979,195	3,303,843	3,186	3,307,030	—	3,307,030
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	390	85	2,428	2,903	75,828	78,731	△78,731	—
計	1,563,980	761,143	981,623	3,306,747	79,014	3,385,761	△78,731	3,307,030
セグメント利益 又は損失(△)	93,866	20,486	△47,335	67,017	△2,782	64,234	△42,944	21,290

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社利益及びセグメント間取引消去等によるものであります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	2,119,255	954,472	1,129,537	4,203,265	2,700	4,205,965	—	4,205,965
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	390	100	2,828	3,318	83,195	86,513	△86,513	—
計	2,119,645	954,572	1,132,366	4,206,584	85,895	4,292,479	△86,513	4,205,965
セグメント利益 又は損失(△)	179,675	31,460	△7,849	203,287	6,145	209,432	△75,442	133,989

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社利益及びセグメント間取引消去等によるものであります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。